

A3

3/5/1 (Item 1 from file: 351)
DIALOG(R) File 351:Derwent WPI
(c) 2002 Thomson Derwent. All rts. reserv.

011119188

WPI Acc No: 1997-097113/ 199709

XRPX Acc No: N97-080518

Chart with medication details for claiming medical bill - in which
information are stored in number of sheets for patients undergoing
treatment for chronic disease over long period

Patent Assignee: NASUNO K (NASU-I)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

| Patent No | Kind | Date | Applicat No | Kind | Date | Week |
|------------|------|----------|-------------|------|----------|----------|
| JP 8335232 | A | 19961217 | JP 95142262 | A | 19950608 | 199709 B |

Priority Applications (No Type Date): JP 95142262 A 19950608

Patent Details:

| Patent No | Kind | Lan Pg | Main IPC | Filing Notes |
|------------|------|--------|---------------|--------------|
| JP 8335232 | A | | 3 G06F-017/60 | |

Abstract (Basic): JP 8335232 A

The chart with medication details are stored in a file system of computer present in the company. The computer is connected with the hospital through cordless system. The chart in the form of paper with view provision, includes medication and inspection information for person undergoing treatment over a long period for chronic disease, information are stored in number of sheets.

This information are viewed page by page by pressing the keyboard button.

ADVANTAGE - Reduces storage capacity. Simplifies combining medical bills at end of month.

Dwg.0/0

Title Terms: CHART; MEDICATE; DETAIL; CLAIM; MEDICAL; BILL; INFORMATION;

STORAGE; NUMBER; SHEET; PATIENT; TREAT; CHRONIC; DISEASE; LONG; PERIOD

Index Terms/Additional Words: HEALTH; INSURANCE; UNION; MEETING

Derwent Class: P31; S05; T01

International Patent Class (Main): G06F-017/60

International Patent Class (Additional): A61B-005/00

File Segment: EPI; EngPI

3/5/2 (Item 1 from file: 347)
DIALOG(R) File 347:JAPIO
(c) 2002 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

05379732

PRACTICE OF MEDICAL CHART-LESS SYSTEM

PUB. NO.: 08-335232 [JP 8335232 A]

PUBLISHED: December 17, 1996 (19961217)

INVENTOR(s): NASUNO KEIJI

APPLICANT(s): NASUNO KEIJI [000000] (An Individual), JP (Japan)

APPL. NO.: 07-142262 [JP 95142262]

FILED: June 08, 1995 (19950608)

INTL CLASS: [6] G06F-017/60; A61B-005/00

JAPIO CLASS: 45.4 (INFORMATION PROCESSING -- Computer Applications); 28.2 (SANITATION -- Medical)

ABSTRACT

PURPOSE: To provide a system with an original medical chart function which makes a doctor himself generate computer medical charts and is integrated up to issue of medical fee bills.

CONSTITUTION: Although a filling system for medical charts by a computer, an examining method, a medical prescription, medical fee billing, etc., are

developed by many companies, there is not a system which connects them, and there would be value on condition that a nurse center and movable codeless clinical records which are used at the time of doctor's round of visits are united. This flow is established by this medical chart-less system. Further, the system is made more complete by connecting a payment fundation and a medical fee examination committe on-line.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-335232

(43) 公開日 平成 8 年 (1996) 12 月 17 日

| (51) Int.Cl. ⁸ | 識別記号 | 庁内整理番号 | F I | 技術表示箇所 |
|---------------------------|------|--------|---------------|--------|
| G 0 6 F 17/60 | | | G 0 6 F 15/21 | 3 6 0 |
| A 6 1 B 5/00 | | | A 6 1 B 5/00 | G |

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平7-142262

(22) 出願日 平成 7 年 (1995) 6 月 8 日

(71) 出願人 391058130

奈須野 圭二

宮城県仙台市青葉区川内川前丁26- 2

(72) 発明者 奈須野 圭二

宮城県仙台市青葉区川内川前丁26番 2 号

(54) 【発明の名称】 カルテレスシステムの実践

(57) 【要約】

【目的】 医師自らコンピュータカルテを作成し診療報酬請求書まで一体化した本来のカルテ機能を持つシステムである。

【構成】 現在コンピュータによるカルテのファイリングシステム、検査方法、院内外の処方箋、診療報酬請求等各社が開発しているが、これらを結ぶシステムが未だなく又ナースセンターや回診の時使用する移動可能なコードレスカルテ、これらが一体となって初めて価値が出て来る、この流れを確立しようとしたのがカルテレスシステムである。さらに支払基金や診療報酬審査会とオンライン化を図ることにより、より充実したシステムとなる。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 今やコンピュータカルテは電子カルテを初めとしてカルテのファイリングシステム、診療報酬請求、検査方法、院内外の処方箋等各社が開発しているいろいろな入力方法や記入改竄防止等高度の技術が研究開発されているがしかしカルテだけが高度でも他部門との流れがないと利用価値がなくそれをどの様に利用し使用するかのシステムはいまだ未開発である、例えば回診の時や入院患者のカルテ作成あるいはカルテと医薬品とを結ぶことがいっこうに進んでいない。これらを解決するには回診の時、移動しながら診察することが出来るコードレスカルテの開発が不可欠となっている。又レントゲンフィルム、スキャナー、検査等の情報は光ディスクなどを採用し連動させ映像としてファイルするがこれらとの連携がなされていないのが現状である、これらが一体となって初めて利用価値が出て来る。この流れを確立しようとしたのが「カルテレスシステム G06F15/21 以下カルテレスと言う」である。従来の電子カルテを始め各種コンピュータによるカルテはオリジナルなもので大変精巧に研究開発がなされているが、しかしこれは技術者の発想で使用者向きではないように思われる、まったくの素人でコンピュータアレルギーの医師から見れば複雑で使用しづらいし末端で入力する医師の立場からはむずかしすぎる。これをより簡単に操作できるように又違和感を少なくするために所見、処置、投薬、検査など現在使用している紙形カルテ様式を採用し特に所見や処置はイメージ入力を多分に採用する。慢性疾患患者一人のカルテ枚数も多く特に長期入院患者などの分厚くなっている、それにまして検査も多種多様にわたり多くなりがちであるが、カルテレスであればこれらを簡素化でき保管場所も小規模で良くなる。

【請求項 2】 診療報酬請求で国民健康保険連合会や社会保険連合会その他組合保険などの審査の時オンライン化をすることで膨大で重量や容量もがさばるカルテをいちいちめくりながらのチェックは困難であり輸送の必要もなくなる、「カルテレス」であれば手元に紙形カルテの必要はなくなりスムーズにチェックすることが出来る。診療報酬請求をオンライン化によってテレビ画像による審査であれば次病院、次診療所と次ページボタン操作を繰り返すだけで簡単でしかも速く審査することが出来る。地域から請求され集まった膨大なカルテから一診療所を検索しようとする場合など特に便利である。さらに病院、診療所や調剤薬局等でこの「カルテレス」が実施されることにより診療報酬請求の作成も簡素化されて短時間で済み、これまでのように提出の為時間的束縛から解放される価値は大きい。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 国民健康保険連合会や社会保険連合会等での診療報酬請求審査会で審査員が審査するとき

オンライン化をすることで膨大なカルテと重量や容量のあるカルテを審査しなければならない、しかし「カルテレス」を利用して審査すればページめくりや特定の病・医院を検索するときなどキーボードボタンを押すだけで簡単に審査することが出来る。

【0002】 医師自ら従来の紙形カルテ同様に手書き感覚で記入することができ、カルテ作成から診療報酬請求まで一体化した本来のカルテ機能をもつコンピュータによるシステムである。

10 【0003】

【従来の技術】 電子カルテや改竄防止、カルテファイリングシステム、診療報酬請求、検査、処方箋等高度の技術により精巧に研究開発されているがすべて個々の開発であり単体で所見からレセプトまで、本来のカルテ機能がなされていない。

【0004】 従来のコンピュータカルテではスケッチや手書きまでのコメントが出来なかった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 本来のカルテ機能いわゆる医者自ら記入した「カルテレス」カルテに所見、処置、検査、処方箋、レセプトまで一環性をもつ機能を確立する。

【0006】 病院、診療所や調剤薬局等でこの「カルテレス」が実施されることにより診療報酬請求の作成も簡素化され短時間で済み正月や五月の連休の時など、提出のため時間的束縛から解放される価値は大きい。

【0007】 支払基金や診療報酬請求審査とオンライン化することで毎月重量のある膨大な紙形カルテの輸送をなくすることが可能になる。

30 【0008】

【課題を解決するための手段】 ナースセンターでや回診の時、その他移動しながら診察する為に移動を可能にするコードレスでポータブル及びスタンド型カルテを使用する。

【0009】 カルテレスはオンラインはもとより光ケーブル通信や衛星通信を利用することにより如何なる場所からもアクセスすることが可能になる。

【0010】 テレビの画面は液晶テレビを使用することにより斜めからは見えにくく患者などプライバシーが保たれる。

【0011】

【作用】 医師の指示によりウインドーや指示ボタンを操作しペン入力ボードで手書き感覚で入力を行い従来の紙型カルテを記入するように作成できる。

【0012】

【実施例】 検査の場合、検査センターなどで使用されている一覧表にチェックするだけで後日その結果が出た時にチェックした覧に記入していただくだけで済むので、めんどろな操作や表示もなく医者も簡単に記入することが出来る。

50

3

【0013】手術室の壁に大型テレビを設置して患部のレントゲンフィルムやCTスキャン、ファイバースコープ等の映像を見ながら手術を行うことが出来る。

【0014】従来のコンピュータカルテではスケッチや手書きまでのコメントが出来なかったが「カルテレス」ではイメージ入力を随所に活用することにより可能となった。

【0015】

【発明の効果】医師が記入した「カルテレス」カルテは検査や投薬、入院患者のカルテと月末の診療報酬請求とを一体化することにより本来のコンピュータカルテの機能が満たされる。

【0016】慢性疾患や長期治療の場合一人のカルテ枚

4

数や検査も多くなりがちで分厚くなるが「カルテレス」で解消が図られる。

【0017】歯科、眼科、耳鼻科、産婦人科等移動して患者を診察する場合に、コードレスでスタンド型移動テレビカルテを使用することにより身近に的確に便利に診察することが出来る。

【0018】カルテを紛失したとき改めて手書きによる書き直をしなければならないが「カルテレス」であればプリントするだけで簡単に作成出来るし、院内で多額の資金をかけ現在使用している紙形カルテの搬送システムを施設する必要もなくなる。

【0019】